

児童〈文化〉文学・芸術・教育の歴史に燦然と輝く記念碑的雑誌
まさに時空を越える“不死鳥”＝デジタル版をお手元に！

CD-ROM 版

赤い鳥



12巻 3号(1924.3) 表紙
清水良雄「もゝの花」

全執筆者

童話・物語・読み物・詩
童謡（歌詞・曲）
絵（表紙絵・口絵・挿絵）

総 1,159人掲載

1918・大正7年7月～1936・昭和11年9月 全196冊・約26,000頁
カラーページ・色刷ページも原本そのままにまるごと収録

学術資料出版

大空社出版

このCD-ROMは『赤い鳥』創刊90周年記念（2008年）
として大空社より発行されたものです。

「赤い鳥」のモットー

創刊号巻頭より複製 (標榜語)

○現在世間に流行してゐる子供の讀物の最も多くは、その俗惡な表紙が多面的に象徵してゐる如く、種々の意味に於て、いかにも下劣極まるものである。こんなものが子供の眞純を侵害しつゝ、あるといふことは、單に思考するだけでも怖ろしい。

○西洋人と違つて、われ／＼日本人は、哀れにも殆末だ當て、子供のために純麗な讀み物を授ける、眞の藝術家の存在を誇り得た例がない。

○「赤い鳥」は世俗的な下卑た子供の讀みものを排除して、子供の純性を保全開發するために、現代第一流の藝術家の眞摯なる努力を集め、兼て、若き子供のための創作家の出現を迎ふる、一大區劃的運動の先驅である。

○「赤い鳥」は、只單に、話材の純清を誇らんとするのみならず、全誌面の表現そのものに於て、子供の文章の手法を授けんとする。

○今の子供の作文を見よ。少くとも子供の作文の選擇さる、標準を見よ。子供も大人も、甚だしく、現今の下等なる新聞雜誌記事の表現に毒されてゐる。「赤い鳥」誌上鈴木三重吉選出の「募集作文」は、すべての子供と、子供の教養を引受けてゐる人々と、その他のすべての國民とに向つて、眞個の作文の活例を教へる機關である。

○「赤い鳥」の運動に賛同せる作家は、泉鏡花、小山内薫、徳田秋聲、高濱虛子、野上豊一郎、野上彌生子、小宮豊隆、有島生馬、芥川龍之介、北原白秋、島崎藤村、森森太郎、森田草平、鈴木三重吉其他十數名、現代の名作家の全部を網羅してゐる。

「赤い鳥」の標榜語

赤い鳥

CD-ROM版

全3枚



鈴木三重吉
(1882-1936)

近代日本児童文化史上の金字塔

明治以降こぞって出版された、子どもを讀者対象とした讀み物の「俗惡・下劣」を脱し、「眞純」な子どもに「純麗」な作品を贈らなければならない——鈴木三重吉が主唱し、当代第一線で力を發揮する作家・画家・芸術家が賛同し作り上げた結晶

雑誌『赤い鳥』

童話・童謡・童画から児童の創作と芳醇な内容は、時代を越えて讀者を魅了しつづける。

詩・作文・絵

讀者児童の創作を募り誌上で指導。後に活躍する多くの才能が育った。

級方選評

鈴木三重吉



信通

今度は入選作に選ばないものが少なくて、其がさびしいです。山本好明君の「れすたない」と、田島さきさんの「身代りの金」とを、ともかく賞に入れておきました。これらふたつは、ありふれた取材で、事實そのものには、たいした差引もありませんが、つまり、ありのまま、澄々なく、すらすらと書き上げた點を取つたのです。お父さんが「しまった、血が出た。後できれいにふいてくれ」と言つて、鼠を火で焼くはさんで外へ持って行かれる、あすこの朝が「ばん印」集づく出てゐます。全體に、素直にかけられて一寸も眼味がありません。



「赤い鳥」のモットーは、子どもを讀者対象とした讀み物の「俗惡・下劣」を脱し、「眞純」な子どもに「純麗」な作品を贈らなければならない——鈴木三重吉が主唱し、当代第一線で力を發揮する作家・画家・芸術家が賛同し作り上げた結晶

モルモット (模範級方)

鈴木三重吉選

つくしんとり (賞)

鐵道伊香郡古木保修二

保利小学校高二年 木保修二

日曜にお父さんが「五味川橋の方へついで、いんをとりに行つてこなか」といはれた。僕は風呂敷を持つて外へ出ると繁三とおまさがゐるので、「つくしんとりに行かんか」といふと繁三が「おんてつてくれ」といつた。おまさと「わいちな」といつた。日は照つてゐるが風が大そう強

『赤い鳥』全196冊・約26,000頁

(1918・大正7年7月～1936・昭和11年9月)

全196冊を見事なまでに再現した〈日本近代文学館版〉雑誌『赤い鳥』複製版を底本として、カラーや色刷りページもそのままに全ページを画像としてデジタル化し、3枚のCD-ROMに収録しました。

あの人が、あの人も、こんな人も…この顔触れを見れば…納得！

壮観！

〈た〉	為我井善一	11.10,12.11,13.2-4)	萩原千江子	ハ	松居松葉▶子供の極楽	村井静	山田喜久男
ターロー	田原三郎	永田吉太郎	橋口久男	深川二郎	(大7.11)	村井章一	山田紅一〔曲〕
大道弘雄	丹野てい子▶桃色リ	中塚金次郎	橋本栄一	深沢省三〔絵〕*	松井文男	村井トシ子	山田耕作〔曲〕*
高木正雄〔曲〕	ボン(昭3.6)	中所健二郎	橋本健二郎	深沢やすゑ	松井真孝	村井久也	山田清井
高田英之助	チエーホフ	中西あい	橋本孝一	福井研介▶小松姫松(大	松江きみ子	村井安男	山田清吉
高梨正	千鳥鈴子	中西秀男	長谷川幸治	15.4)	松岡譲	村尾茂	山田藤三
高野ケイ	茅野蕭々▶女王様の馬	中野くに子	長谷川たみ子	福岡栄子	松貝鉄之助	村尾茂	山田彦一郎
高野澄子	(大9.1-3)	中野健一	秦豊吉	福田精	松下きくえ	村上永一	山田ユリ子
高野鷹蔵	千葉久	永野弘	畠山まさゑ	福田寿男	松島ふみ	村上さりの	山中昭子
高野むつみ	茶木七郎	中村和允	秦野一男	福永渙▶少年と木馬	松瀬福良	村上保行▶化石と系	山中笑
高橋誠一	チリコフ	中村才三郎	八條年也	(大13.8)	松波定夫	統樹(昭3.4)	山道ヨシユ
高橋敏春	塚原健二郎▶あめ売	中村星湖▶ほとゝぎ	服部健	福中銀二	松波三郎	村上康行	山本喜市
高橋直善	り正吉(昭3.8)	すの昇天(大9.8)	服部清一	福永挽歌	松波由一	村田あい	山本純三
高橋ふみ子	辻乙四郎▶むじなの	中村高樹	服部倅治	藤井喜代子	松根東洋城	村野賢哉	山本夏彦
高橋正男	仇討(昭7.9)	中村てる子	服部兵次郎	藤井樹郎	松野雪子	村野しづ子	山本縫子
高橋芳江	辻井健一	中村藤助	服部操	藤井東洋男	松橋幸作	村山としゑ	山本みさへ
高浜虚子▶一寸法師(大	辻築一男	中村十四男	羽鳥さくい	藤井久子	松原振作	村山吉雄	山本みや子
7.10・11)	辻野美喜子	中村利雄	花井たかの	伏川玄司	松村七郎	室池浩	山本康雄
鷹見晏	都築益世	中村利長	端章	藤川貞之助	松本あやめ	室生犀星▶寂しき魚(大	山矢ゆう子
田上悦子	土田利珠	中村操	羽田亨	藤崎徳夫	松本栄助	9.12)	湯川績
高宮五郎	筒井嘉隆	中村好男	羽土秋子	藤田孝子	松本篤造	室腰澄子	雪岡葉子
高村博視	堤文子▶牛(昭3.6)	中村吉麿▶塙騒動(昭	羽室長靖	藤谷一男	松元幸子	メリメ	柚利淳一
高森通夫	堤みどり	7.11-8.1)	馬場孤蝶	藤谷千鶴子	松山実子	毛利江塘〔曲〕	湯目節子
高柳武夫	網島信吉	中本一枝	浜田綾子▶神父バ	藤浪音よ	松山とも子〔絵〕	毛利泰子〔曲〕	横井八束
高山誠一	角田新〔曲〕	長本庄太郎	レール(昭7.9-10)	藤曲武子	松山弘	森義八郎〔曲〕	横川一馬
多木七郎	坪田譲治▶善太と汽	中屋喜作	早川午佐久	藤巻しげ子	松山文雄〔絵〕	森三郎▶風船虫(昭	横田重六
滝沢英子	車(昭2.10)	中山厳	早川七郎	藤森茂	真鍋嘉一郎	9.2)	横田大一郎
武和子	坪田洋吉▶こはれた	中山勉	早坂ふくよ	ブーシュキン	マリイ女王	森繁鶴	横竹六郎
武井武雄〔絵〕*	椅子(昭7.8)	中山秀子	林勝義	ブライロフスキー	マロー	森銑三▶葛飾北斎(昭	横谷豊子
竹内貞郎	手島彦一	中山みつ〔詞〕	林三一	〔絵〕	マンズフィールド	2.4)	横山一樹
竹尾潮	手代森勘次郎	名倉晰〔詞〕	林新治郎	フランス	丸尾彰三郎	森三枝子	横山知子
竹口広子	鉄田丈助	夏目鏡子	林タマ子	古川きよ	丸山象次郎	森やす子〔曲〕	吉井芳子
武田幸一	寺井政吉	名取唯雄	林敏夫	古川清雄	三浦全次	森好志枝	吉川孝一〔曲〕
竹田はる	寺内万次郎〔絵〕	名取喜三	林富子	古川武雄	三門勘重郎	森田きぬ	吉川行雄▶三日月(昭
武久照子	寺尾新	波岡五十三	林文雄	古川武一	三神鶴吉	森田草平▶のんき者	3.5)
武光茂雄	寺門ノブ子	並木庄一	林美美子	ペイトマン、J.〔絵〕	三木露鶴〔詞〕*▶冬	と王様(大10.7-8)	吉田絃二郎▶壺平翁
竹村てつ	寺門春子	行方沼東	林政夫	坊田寿真〔曲〕	の歌(大7.12)	森田たま▶ふし穴(昭	さんの死(大13.1)
田崎豊子	寺門安雄	成田キミ	林己奈夫	ホーソン	三島まち子	6.11)	吉田千代子
田代庸▶人間の眼が	寺田宋一	成田為三〔曲〕*	林よしえ	鐸木孝	水木京太▶同情学校	森永種夫	吉田敏子
出来るまで(昭6.6)	田李三	成田トミエ	林よし子	穂積重	(大13.4)	森野欣一	吉田夏子
但木菊郎	土居その子	成田成寿	林田馬行	八角福蔵	水島爾保布〔絵〕*▶	森野博敏	吉永鉄男
糺助	トウリエ	成田まつ子	原邦造	細田源吉▶気の毒な	三人の泥棒(大8.11)	森谷武郎	吉野桜子
橘薫	ドーデー▶風車場の	成石崇	原たか	爺さん(大14.7)	水島信一	森脇愛子	吉見乾海
橘卓郎	秘密(昭3.3)	南部修太郎▶小人の謎	原田謙次	細田さく江	水島柳二郎	モルナール	吉村武雄
辰濃尚次郎	十河長治	(大7.8)	原田正八郎	細田民樹▶三匹の小	水野静雄▶スペクト	〈や〉	吉村つや
龍登秋三	土岐龍三	新島共子	原田文子	牛(昭3.8)	ルの話(大14.1)	八湯豊	吉本猛夫
聖聖歌▶風邪(昭4.1)	徳田秋声▶手づま使(大	新津真佐枝	春野武	堀田竹夫	水野民郎	矢川譲▶彦左衛門と	吉元正太郎
館内伊佐美	7.7)	新美南吉▶ごん狐(昭	判治信雄	堀歌子	水野正義	狸(昭3.10)	与田準一▶遠い景色
館内勇	ド・スメー、L.〔絵〕	7.1)	終いく	堀重子	水野葉舟	八木橋みさ	(昭3.9)
田中秋子	戸田ふじゑ	西浦孝一	樋口やす子▶おしや	堀井吉麻	水野由之	八木橋雄次郎	依田八重
田中あさえ	戸田龍	西久保奈良石	べり(大8.6)	堀井敏江	水町虹二郎	八島光男	米川茂子
田中梅男	轟浪子	西沢とし子	久板栄二郎▶天国の墮	堀井増次郎	溝上敏彦	保井猶造	米本龍
田中薫▶大大阪(大	利根川たみ	西沢文子	落(大11.6・7)	堀内三枝子	溝口マキ子	安井洋	米山愛紫
14.9)	富居栄	西島公子	久木幸男	堀川たま	三井俊雄	安田いまの	米山光時
田中公子	豊島与志雄▶強い賢	西前千代三	肥沼鋭子	堀野義雄	三ツ国ささ子	保田おりの	〈ら〉
田中経太郎	い王様の話(大10.6)	西村ヒデ	ヒューズ	堀部英次	光田みち子	安田ミチエ	リーコック
田中しげ	富田キヨ子	西村ふみ子	ビョルンソン	ボルド	水上宇多	安成二郎	リシタンベル
田中俊二郎	豊田三郎▶土人の子(昭	西村弁	平井寛	ボンサー	南薫	安原幸子	ヂュー
田中正三	6.1)	西村良雄	平井賢三	本多吉次郎	南浪子▶山茶花(昭	柳沢健▶桃太郎(大	ルノートル
田中西二郎	豊田七郎	二條絹子	平井泰太郎	本多キミエ	7.2)	9.3)	ルメートル
田中誓	豊田正子▶きつねつ	新田貞男	平方久直	本多ふみ	三村彦一	柳根恵	レーミジフ
田中豊蔵	き(昭8.8)	額賀ふみ江	平川縫治	本間久雄▶星の子(大	宮井綾子	矢野環	ロセッティ〔詞〕
田中美喜男	トルストイ	布田正二	平川義雄	8.12,9.2)	三宅周太郎▶雪娘(大	矢部季〔絵〕	〈わ〉
田中光雄	〈な〉	沼尻憲四郎	平田アヤ子	〈ま〉	8.1)	山合椿名	若林房子
田中善徳〔詞〕	内藤三雄	沼田龍吉	平田松之助	前島とも子〔絵〕	三宅四郎	山内正一	和田とき子
谷三郎	中井八熊	根本清吾	平谷平蔵	前田栄	宮崎博	山内敏	和田陽平〔曲〕
谷井綱之	永井善太郎	野上進	平塚武二▶魔法のテ	前田千代子	宮崎正雄	山県国男	渡辺運平
谷川りと	長井真琴	野上豊一郎▶ボビ	イブル(昭6.7)	槇三次	宮崎正己	山上弘	渡辺健治郎〔曲〕
谷口清子▶光子ちや	長尾まさ子	ノが王様になった話(大	平沼和子	槇静枝	宮沢正臣	山岸順子	渡辺さか代
ん(昭7.8)	長岐ハチエ	7.11)	平野つや子	牧内つね	宮下とみ子	山口喜市〔詞〕	渡辺しめ
谷口静枝	長坂孫一	野上弥生子▶不思議	平林とみ子	槇田浜吉〔詞〕	宮下義信	山口慶二郎	渡辺四郎
谷崎潤一郎	長崎キミ	な熊(大10.6-9)	平光英治	牧田正臣	宮島資夫▶仁王の力	山口信	渡辺ツギ子
谷沢一郎	中里信子	野口稲城	比留間喬介	正木桂子	(大15.5)	山口忠雄	渡辺トミエ
谷沢くり	中沢正名	野口ハマ子	広瀬ゑつ	正木万代	宮原晃一郎▶漁師の	山口利国	渡辺幸
谷村二十郎	中島みな	能沢鱗	ヒロセマサミ	益子九郎〔曲〕	冒険(大9.11)	山口とめ	綿貫六助
種村うの	長島辰夫	野中操	弘田龍太郎〔曲〕*	間下夏枝	ミヨシサブラウ	山口直虎	亙理しづ子
玉江蘆笛〔曲〕	永島直昭	野村清三〔詞〕	広津和郎▶太助の薄馬	間島晴之助	向井八門	山崎楽堂	
田村盛	永田金三	野村譲	鹿(大9.11)	増井幸雄	向山敬造	山崎清重〔曲〕	
田村秀雄	永田さだ	〈は〉	フィリップ▶ずるや	増田セイ	向山せつ子	山崎寛	
田村光雄	長田てる	パアリー	すみ(昭8.6)	増永元也	宗像彰	山下幸次	
為我井栄治郎	長田秀雄▶幽霊船(大	博多屋鉄二	フォン・エッセンパッ	松井シズエ	宗像よし子	山田一夫	

〈あ〉 相羽登久子 青木健作 * ▶ 仇討(大12.2) 青木茂 ▶ 虫のお医者(大11.1) 青木ヒデ 青木マサ 青木みか 青山あき子 青山利子 赤岩音吉 赤沼雅子 秋田雨雀 * ▶ 蠅の勝利(大10.5) 秋津和夫 秋葉喜代子 秋庭俊彦 * ▶ 天国から来た人(大13.9) 秋本さきみ 秋本末男 秋山三郎 秋山雅晴 芥川龍之介 * ▶ 蜘蛛の糸(大7.7) 浅岡ミエ子 浅川けさ子 浅川とき 朝倉コトリ 浅原代志子 旭よし 朝比奈正雄 麻部瑛〔詞〕 麻生侑治 阿達トヨ 安倍能成 天川幸夫 天野彦太郎 網野真円 網野すゞ子 荒井敏雄 荒木恒一郎 荒谷栄子 有賀武尚 有賀連 有島生馬 * ▶ 宝探しの計略(大10.6) 有島武郎 ▶ 一房の葡萄(大9.8) 有田健一 有馬淳 栗野秋一郎 安藤愛子 安藤健一 安東玉彦 アンドレイエフ 安保正七 飯田紅於〔曲〕 飯田時三 家城なか 五十嵐巖 五十嵐賢蔵 五十嵐富士男〔曲〕 井口乙也 池上喜代一 池上由太郎 池田春一 池田清次郎 生駒澄雄 伊佐治利男 諫山智万 岩崎孝 石井一郎 石井潔〔曲〕 石井重美 石井静 石井繁治 石井よと子 石尾平子 石川潔 石河是文	石川智恵子 石川養拙 石沢金重郎 石田美代子 石塚敦子 * ▶ つばめ(昭8.12) 石戸仁平 石原国平 石原幸一 石部清子 石森照子 伊従登美子 泉鏡花 ▶ あゝ紫は(大7.7) イスラエルス、J. *〔絵〕 磯部末子 市上さわ子 市川一 市毛道也 一勇斎国芳 *〔絵〕 井出八辰 井手上茂子 伊藤勝正 伊藤貞江 伊藤茂 伊藤スエ 伊藤政一 伊藤貴鷹 ▶ 虎の改心(大12.9) 伊藤東吉〔詞〕 伊東伸子 伊東英子 * ▶ 狐の片耳(大9.3) 伊東文雄 * ▶ イザワル(昭4.3) 伊藤みき子 伊藤元吉 伊藤燐子 糸川徳三 稲垣よし 稲葉美佐子 稲村恵治 稲村悟朗 稲村貞子 井上あきを 井上健 井上光二 井上種伸 井上利春 伊野宮長久 井伏鱒二 ▶ ばかそひ(昭6.6) 井堀美智代 今井鑑三 * ▶ ひろった銀貨(昭8.9) 今泉しづ 今川節〔曲〕 今田重雄 今村義夫 井丸卓江 井本良太郎 入田整三 岩井千代子 巖ふみ子 岩佐善男 岩瀬英之助 岩田ひろむ 岩間ちよ子 岩見難登 岩見正男 ヴァルデス ウィルデンブルーフ 殖田三郎 上野歌子 上野信郎 上野信行 上浜九平治 植松一郎 上村弘 ウエイクネル	ウエルテンバー 〔絵〕 宇田道隆 内沢和子 内田かすみ 内田恵太郎 内田進 内田亨 * ▶ 遺伝の話(大11.11) 内田はな 内田百閒 ▶ キツネカネツキ(昭3.4) 内田よし子 内沼キヨ子 内海登 宇野四郎 * ▶ お金持と子供の国(大13.10) 宇野浩二 * ▶ 落の下の神様(大10.1) 宇野千代 * ▶ 侍と狐(大15.2) 梅沢しず 梅田年美 浦広 浦瀬白雨 浦辺千代子 浦和明〔曲〕 海野厚一 江口渙 * ▶ ある日の鬼ヶ島(昭2.10・11) 江口千代子 ▶ 銀の御殿(大8.7・8) 江端クワ 蛭子久治郎 海老名謙一 蛭原徳夫 円藤周 笈川求女 大石くに〔詞〕 大岡洋吉 大河八束 大木篤夫 * ▶ 秋雨哀悼歌(昭11.10) 大木頭一郎 大木正夫〔曲〕 大久保あや子 大坂政一 大柴富子 大島又彦 大関愛子 大関竹三郎 * ▶ 遠心力(昭6.6) 太田キヨノ 太田俊男 大谷猛 大津栄子 大塚富志 大塚はな 大槻憲二 大坪一郎 大西一郎 大西ひろし〔曲〕 大貫幸江 大野滋 大野壮平 大野治司 大野義孝 大場魚九郎 大業しげ子 大橋巖 大畑一夫 大平朝次 大村都次郎 大元シマ 大家沢子 大山春樹 大山義夫 岡愛子 ▶ 私のピーター・パン(昭10.7-11.10) 岡静乃 岡節夫	丘ひろし 岡崎文雄 * ▶ 石標(昭7.10) 小笠原寛三〔絵〕 小笠原とみ 岡田泰三 岡野栄一 岡部長節 * ▶ 忍術の話(昭3.10) 岡本ケイ 岡本太郎 小川たか 小川忠之助 小川光雄 小川未明 * ▶ 黒い人と赤い楯(大11.1) 小河ももえ 小川義夫 奥原徳夫 奥村良作 小倉庫次 小佐田義雄 小山内薫 * ▶ 平気の平佐(大8.1-3) 忍川保二 小田敏 小田切出海 小田切正太郎〔曲〕 小名木実 小野浩 * ▶ 三人どろぼう(昭3.4) 小野木光恵 小野寺輝夫 小畑アヤ 小原亮 小山田台介〔曲〕 〈か〉 海達公子 海達貴文 賀川茂 垣内哲男 柿谷久枝 影山正三郎 加治亮介 柏井勇 柏木勇 柏木シヅエ 柏熊一枝 柏熊俊司 柏熊まさ子 柏倉果七 梶原あや 梶原勝三郎 梶原雅男 風張照太郎 加田愛咲 片野保造 片山寛二 片山広子 ▶ 四人の坊さん(大8.12) 勝田英五郎 勝山良二 加藤すみ子 加藤順永 加藤精一 加藤武雄 ▶ 赤い球(大14.6) 加藤忠之助 加藤照頭〔曲〕 加藤藤三 加藤文吉 加藤弥六 門西貞子 門馬孝男 角来国治 金沢孝 金石鎮 金子てい〔詞〕 * ▶ 月夜の風(大13.6) 金杉栄蔵 金田修	加能作次郎 ▶ 嘘つき又五郎(昭2.10) 狩野りつ子 カピュー カマラサ、H.〔絵〕 上司小剣 * ▶ 西瓜どろぼう(昭3.7) 上山正祐〔曲〕 亀田博 茅上真人 荻原岩次 茅原順三 * ▶ 赤穴宗右衛門兄弟(昭6.3) カラン・ダーシュ * ▶ 士官の馬(昭3.3) 河合幸三 川井三良 河合その子 川井正男 川上愛子 川上四郎〔絵〕 * 川上すみを ▶ たんぼ(大8.8) 川上大三郎 河上ぬひ子 川口直吉 川口松太郎 ▶ 海賊王子(大15.11・12) 川久保みつゐ 川崎幹四郎 川島勝年 川城羊丘 河津健三 川村しげ 河村正夫 河本宇吉 川本巳之松 菅和子 菅野末雄 木内高音 * ▶ 水菓子屋の要吉(昭3.7) 木方ひで 菊池寛 * ▶ 一郎次、二郎次、三郎次(大8.4-6) 菊池武雄〔絵〕 * 岸本良一 根谷一彦〔詞〕 喜多信太郎 北島泰代 北原章子 北原耕一 北原白秋〔詞〕 * ▶ あわて床屋(大8.4) 北村譲 北村よし 木津まゆみ キップリング 木戸清作 木下勘二 木下信 木下美代子 木下奎太郎 ▶ 花屋の娘(大10.6) 木俣修二 ▶ よる(大10.8) 木村修 木村幹 木村キミ子 帰山繁 清谷あけし〔詞〕 吉良仁夫 桐野信吉 久木幸男 日下部玄之吉 草川信〔曲〕 * ▶ 雀のお宿(大10.12) 葛原運次郎 楠山正雄 * ▶ 新かぐや姫(大9.4) 久住呂孝一 国方はるえ 久保松治	久保よし子 久保より江 久保川とめ 久保川豊 久保田進男 久保田のぶ子 久保田万太郎 * ▶ 白い鳥の話(大8.5-7) 熊岸英一 熊澤博文 熊代正一 隈本信也 久米正雄 * ▶ 支那船(大10.1) クラルティ 栗野俊 栗原謹一郎 栗本弥彦 黒木進 畔蒜由喜子 黒崎与一郎 黒田善夫 黒部敏 桑名晴葉 桑野克太郎 ケストナー 小泉かつ子 小泉操 合志光 幸田稔 河野越子 交野なつ子 河野操 コエルホ 小島いせ 小島政二郎 * ▶ わるい人形の冒険(大9.2-9) 佐藤文江 佐藤実 佐藤勝 佐藤義美 ▶ 月の中(昭3.6) 佐藤六郎 真田文子 佐野敏臣 沢吉弥 沢美代子 志浦友吉 シェーンヘル 塩田百合子 * ▶ すゑっ子(昭9.8) 塩見咲子 静山タツヲ 篠崎さきみ子 篠崎クニ 篠崎黄二 篠崎まつ江 篠田安子 篠原温亭 篠原光祐 篠原進三 篠原雪江 四宮健 芝克己 芝口謙 柴田賢一 柴田泰助 芝田半兵衛 芝田やす 渋谷藤吾 渋谷光明〔曲〕 島崎藤村 * ▶ 小さな土産話(大8.4) 島田喜平治 島田澄子 島田訥郎〔絵〕 島田春雄 島村さきみ子 島村孝三 島本仁太郎 島脇梅次郎 島脇忠実	清水栄子 清水幸治 清水重道 清水静子 清水隆 * ▶ 面白いのぞきめがね(昭2.11) 清水卓平〔詞〕 清水たみ子 清水良雄〔絵〕 * 志茂西夫 下尾保子 下條喜一郎 下田ウタ子 下長根定次郎 下平里登子 下村千秋 * ▶ 軍艦と猿(昭2.9-11) 下村満一 下村勇吉 シュニッツラー シュリヒト、G.〔絵〕 白岩多喜男 白田恒夫 新海良祐 新谷忠 菅沼七郎 菅谷かつ 須川よし子 菅原ヨシ 杉浦冷石〔詞〕 杉岡はな 杉岡久男 杉木道子 杉田益次郎〔絵〕 杉田楊太郎〔絵〕 杉村完 杉村文夫 杉本修 杉本藤一 杉本留 杉本直子 杉本美代子 杉山正賢 周郷博 鈴木圭介 鈴木広吉 鈴木珊吉 鈴木土行 鈴木淳〔絵〕 * 鈴木すゞ子 鈴木善太郎 * ▶ お猿の剣術(大7.9) 鈴木武子 鈴木登美子 鈴木はま 鈴木三三子 鈴木ミエ 鈴木三重吉 * ▶ 女神の死(大8.7) 鈴木稔 鈴木よし子 鈴木善志子 住谷康 諏訪たみ子 瀬尾京一 関キヨ子 関下つる 瀬越艶 瀬沼寛二 * ▶ 三浦按針(昭6.2-3) 瀬沼孝一 * ▶ 動植物の滅亡(昭6.2) 瀬野作平〔曲〕 世羅田栄一 相馬泰三 * ▶ 紀平次の畑(大15.2) 相馬トシ 曾根貞雄 藺田澄江 ソログープ
---	--	---	--	---	--	--

赤い鳥

閲覧見本

* PDF 形式で
操作は容易

いま **オリジナル**で開き **感動**を新たにする！
カラーページ・色刷りページも原本そのままに再現
表紙から裏表紙まで口絵・広告もすべて収録



■ 毎号毎号
綺羅星のごとき
豪華執筆陣に
胸躍る！

(1918.7)



(1936.9)



終刊

創刊から終刊

16年にわたる

各巻1号の全表紙

復刊

(1931.1)

(1929.1)

*雑誌を開いた感覚で作品を読む臨場感



ちよろゝ 小栗鼠
 山椒の露が青いぞ
 飲め、飲め、小栗鼠
 栗鼠、栗鼠、小栗鼠
 ちよろゝ 小栗鼠
 葡萄の花が白いぞ
 摘れ、摘れ、小栗鼠



りすく 小栗鼠
 北原白秋
 栗鼠、栗鼠、小栗鼠
 ちよろゝ 小栗鼠
 杏の實が赤いぞ
 食べ、食べ、小栗鼠
 栗鼠、栗鼠、小栗鼠

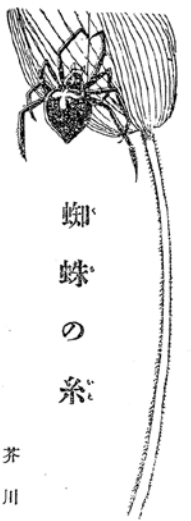
文と絵の饗宴 初出誌面で再読する楽しみ！

この時多しといふ男は、人を殺したり家に火をつけたたり、いろ／＼悪事を働いた大泥棒でございますが、それでもたつた一つ、善い事をした覚えがございます。と申しますのは、或時この男が深い林の中を通りますと、小さな蜘蛛が一匹、路ばたを通つて行くのが見えました。そこで蜘蛛は早速足を上げて、路ばたと致しましたが、



「いや、いや、これも小さいながら命のあるものに違ひない。その命を無暗にとるといふ事は、いくら何でも可哀さうだ」と、かう急に思ひ返してとうと

うその蜘蛛を殺さずに助けてやりました。お蜘蛛は蜘蛛の糸を御覧になりながら、この蜘蛛多しには蜘蛛を助けた事があるのを思ひ出しになりまして。さうしてそれだけの善い事をした報には、出来るならこの男を地獄から救ひ出してやらうと考へになりました。幸、側を御覧になりまして、翡翠のやうな色をした蓮の葉の上には、極楽の蜘蛛が、一匹美しい無色の糸をかけてをりました。



蜘蛛の糸

芥川龍之介

或日のことでございます。お蜘蛛様は極楽の蓮池のふちを、獨り／＼お歩きになつていらつしやいました。池の中に咲いてゐる蓮の花は、みんな玉のやうにまつ白で、そのまん中にある金色の蕊からは、何とも言へない好い匂が、絶間なくあたりへ溢れて居りました。極楽は丁度好くてございました。

やがてお蜘蛛様はその池の縁に歩みになって、水の面を流つてゐる蓮の葉の間から、ふと下の容子を御覧になりました。この極楽の蓮池の下は、丁度地獄の底に當つてをりますから、水の中のやうな水を透さぬで、三途の河や針の山の景色が、丁度覗き眼鏡を見るやうに、はつきり見えるのでございます。するとその地獄の底に、蜘蛛多しといふ男が一人、外の野人と一しよに煮いてゐる姿が、お眼に止りました。

*複製底本は日本近代文学館発行『赤い鳥』全196冊。精細鮮明画像で閲読

各Diskに「全巻総目次」「作者別作品一覧」「巻号・発行年月日一覧」(テキスト検索可)収録。読みたい・見たい箇所をすぐ探せます。

*本文はテキスト化されていません。

CD-ROM版

全3枚

赤い鳥

主宰 鈴木三重吉

1918・大正7年7月～1936・昭和11年9月

全196冊・約26,000頁

カラーページ・色刷ページも原本そのままにまるごと収録



本CD-ROM版は創刊90周年記念として制作・発行されました（大空社2008年）。

- CD-ROM版 赤い鳥（全3枚）
ISBN978-4-283-00546-4
揃定価（本体60,000円＋税）

〈収録内容〉

全196冊の全(約26,000)ページを収録

創刊第1巻第1号（1918・大正7年7月）～

第22巻第3号（1929・昭和4年3月）休刊・127冊

復刊第1巻第1号（1931・昭和6年1月）～

第12巻第3号（1936・昭和11年9月）終刊・69冊

〈使用底本〉

日本近代文学館発行『赤い鳥』複製版・全196冊

◎全国多数の公共図書館に所蔵されている決定版！

〈仕様・機能〉

- ① 原本の原寸画像、見開き2頁を1コマとし、実際に雑誌を開いた感覚で読める。
- ② 表紙・口絵・グラビア・目次等のカラーは原本通りに、本文等はモノクロで収録した。
- ③ 「全巻総目次」「作者別作品一覧」「巻号・発行年月日一覧」（テキスト検索可）が付き（Diskごとに）、読みたい・見たい個所を探すツールが完備している。
- ④ データは広く普及しているPDF形式なので、閲覧が容易にできる。

閲覧見本

→ 6,7 頁

* 書店では扱っておりません。
お問い合わせ、お申し込みはこちらへ。
(専売) 国内販売元



パンセ
学術図書販売(株)

〒650-0011 神戸市中央区下山手通 6-1-4 オフィス下山手 3B

TEL 078-945-7835 FAX 078-945-7886



0120-518-521

E-Mail: contact@tosho-pensee.com <https://www.tosho-pensee.com>